



ぼけますから、
よろしくお願ひします。
～おかえりお母さん～

映画上映会 & 信友監督講演会

8月4日

時間：13:30～17:00

会場 | 千代田区いきいきプラザ一番町地下1階カスケードホール
アクセス | 半蔵門線「半蔵門駅」・有楽町線「麴町駅」から徒歩5分

※オンラインでの参加も可能
※ネット回線の状況によって、スムーズな視聴が出来ない可能性がございますので、ご了承ください

対象者 本上映会・講演会に興味がある方

参加費 無料
ご友人、お知り合い同士の参加歓迎

参加方法 右の参加フォームより事前予約必須 ⇒



あらすじ



東京で働くひとり娘の「私」（監督・信友直子）は、広島県呉市に暮らす90代の両親を1作目完成後も撮り続けた。2018年、父は家事全般を取り仕切れるまでになり日々奮闘しているが、母の認知症はさらに進行し、ついに脳梗塞を発症、入院生活が始まる。父は毎日1時間かけて母に面会するため足を運び、母を励まし続け、いつか母が帰ってくるためのと98歳にして筋トレを始める。そんな中、2020年3月に新型コロナの感染が世界的に拡大。決してあきらめず奮闘する父の姿は娘に美しく映るのだった――

©2022「ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえりお母さん～」製作委員会





©2022「ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえり お母さん～」製作委員会

ぼけますから、 よろしくお願ひします。 ～おかえり お母さん～



日本中を深い感動で包んだあの物語には続きがあった

監督・撮影・語り **信友 直子**

1961年広島県呉市生まれ。1984年東京大学文学部卒業。1986年から映像制作に携わり、フジテレビ「NONFIX」や「ザ・ノンフィクション」で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。「NONFIX 青山世多加」で放送文化基金奨励賞、「ザ・ノンフィクション おっぱいと東京タワー～私の乳がん日記」でニューヨークフェスティバル銀賞・ギャラクシー賞奨励賞を受賞。

他に、北朝鮮拉致問題・ひきこもり・若年認知症・ネットカフェ難民などの社会的なテーマから、アキバ系や草食男子などの生態という現代社会の一面を切り取ってきた。

2018年に『ぼけますから、よろしくお願ひします。』で長編監督デビュー。全国の100館を超える映画館で上映。ホール上映も合わせると20万人以上を動員する大ヒット。令和元年の文化庁映画賞・文化記録映画大賞など数々の荣誉に輝く。



<https://naokonobutomo.com/>



右記QRコードから信友監督のオフィシャルサイトも是非ご覧ください！